

「発生段階の区分について（暫定版）」と政府専門家会議提言の地域区分

「発生段階の区分について（暫定版）」については、政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言（2020年4月1日）に記載された地域区分の基本的な考え方とほぼ対応しているものと考えられるため、今後も維持する。

発生段階の区分（暫定版）	政府専門家会議提言の地域区分
域内発生早期 【Level 1】 感染者数に関わらず、感染経路が特定（推定）できている状態 （県外での感染の可能性が高い事例、又は県内において感染し感染経路が特定（推定）できている事例のみの場合）	③ 感染未確認地域 ○ 直近1週間において、感染者が確認されていない地域（海外帰国の輸入例は除く。直近の1週間においてリンクなしの感染者数もなし） ↓
域内感染発生期 【Level 2】 感染経路が特定できない者が発生、又は単発的なクラスターが発生した状態	② 感染確認地域 ○ 直近1週間の新規感染者数やリンクなしの感染者数が、その1週間前と比較して一定程度の増加幅に収まっており、帰国者・外来の受診者数についてもあまり増加していない状況にある地域（①でも③でもない地域） ↓
域内まん延期 【Level 3】 感染経路が特定できない者が多数発生、又はクラスターが連続して複数発生した状態	① 感染拡大警戒地域 ○ 直近1週間の新規感染数やリンクなしの感染者数が、その1週間前と比較して大幅な増加が確認されているが、オーバーシュートと呼べるほどの状況には至っていない。また、1週間の帰国者・接触者外来の受診者についても、その1週間前と比較して一定の増加基調が確認される。 ○ 重症者を優先する医療体制の構築を図ってもなお、医療提供体制のキャパシティ等の観点から、近い将来、切迫性の高い状況又はその恐れが高まっている状況。
域内まん延期 【Level 4】 県内で 緊急事態宣言 が発出された状態	

※政府専門家会議提言に示す新規確定患者数、リンクが不明な新規確定患者数、有症状者相談窓口（帰国者・接触者相談センター）の相談件数、帰国者・接触者外来の受診件数、PCR検査等の件数及び陽性率を考慮した上で、総合的に判断する。